

■ 岐阜環境医学研究所・座禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・止煙相談
 診察日：毎週 木曜・金曜
 時間：9:00~12:00、13:00~17:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:050-5201-5567
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://www42.tok2.com/home/zazendoh/

第18号 2005.8.1

毎月1回発行 座禅洞診療所 松井英介

産禅洞だより

× たばこシリーズ

- わかっちゃいるけど、やめられない -
 (13)

- 番外：タバコとアスベスト -

最近にわかに騒がしくなったアスベスト問題。アスベストと関連の深い中皮腫という病名を初めて聞いた方も多いと思います。中皮腫は胸膜や腹膜のがんです。見つかったときには広く浸潤していて外科的に手術できないことも多く、内科的に薬で完治させることも難しい病気です(図1a&b)。アスベストがやっかいなのは、ばく露してから40年もたって中皮腫が出てくることです。アスベストについてよく知らなかったために、自分がそれを吸い込んだかどうか



図1-a

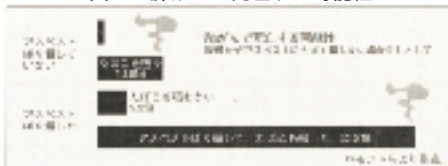


図1-b

についてすら覚えていないひとも多いと考えなければなりません。医者は患者の職歴や居住環境についてくわしい問診をしなければならぬと言われるのはそのためです。

そのほかアスベストに関連した病気には、じん肺の一種であるアスベスト肺があります。肺が線維化して固くなり、呼吸が困難になる病気です。そして忘れてならないのが肺がんです。タバコとアスベストが複合的に作用して肺がんを発生させるリスクは、どちらのばく露もないときを1とすると、両者が合わさったときには53.2倍にもなります(図2)。まさに複合汚染・相乗効果です。これらの病

図2：肺がんで死亡する可能性



気がすべて労災補償の対象になります(図3)。

図3-アスベストでおきる病気



ところが、夫がアスベスト工場で働いていて、その作業服を洗濯していた妻が中皮腫になった例があります。アスベスト工場の近く住んでいたために、中皮腫を発症したひともあります。アスベストを吹き付け剤として使った学校や保育園に通っていた子どもたちをどう評価するかも問題です。岐阜市椿洞の産廃不法投棄現場に、建設廃材などの形でアスベストが捨てられていることを岐阜市は明らかにしました。現場近くに住むひとたちの健康障害をどう考えるのがが重大な問題です。"自主撤去"作業を続けている刑事裁判被告企業の人たちや立ち会っている岐阜市職員の防護はどうしているのでしょうか。また一日6、7台のトラックが奈良までときには岡山まで産廃を運んでいるわけですが、運搬途中の安全対策(図4)はどうしているのでしょうか。今まで労働現場の問題としてあつかわれていたアスベストによる健康障害を、公害と考えなければならぬ理由はそこにあります。遅きに失したとはいえ、法制度を根本的に変える必要があります。



図4- 厳重な防護が必要

日本では、少量のアスベストが採掘されたことはありましたが、最近では全量を輸入に頼っています。アスベスト輸入量が、ピーク(352,110トン)を記録したのは、1974年でした。世界生産量の7割を日本が輸入していたこととなります(図5)。1964年の東京オリンピックに象徴されるコンクリートジャングル化は、田中角栄内閣の日本列島"壊憎"計画に基づいて全国展開しました。大阪万博は1970年のことでした。道路、トンネル、ダム、橋、港湾、八コもの、新幹線、原発などコンクリートの建造物は、森を伐り、谷を埋め、自然生態系、農業・林業・漁業を破壊しながら、日本中に広がっていきました。アスベストの輸入量が急速な上昇カーブを描くのが1960年代、これが急速な減少に転ずるのが1990年代(図5)です。

図5-アスベストの世界生産量とアジア各国の消費量の推移



問題は、今後のアスベストばく露対策です。60年代から80年代に造られたコンクリート+アスベスト建造物が、今後老朽化とともに解体されることとなりますが、そのピークが2020年から2040年になると予想されており、解体作業にともなうアスベストばく露対策の徹底が重要課題になっています。2005年7月1日に石綿障害予防規則が施行されましたが、規制が厳しくなり解体・廃棄にともなう費用がかさむほど不法解体・不法投棄は増える可能性があり、住民の厳しい監視の目が不可欠です。

...裏面右下に挿入図の説明あり...(以下、次号)